

## 本院の放射線科に通院中の患者さまへ

当院では、「肺動静脈奇形に対する経カテーテル塞栓術後の再発率評価についての後方視的研究」という多施設共同での臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。経カテーテル的塞栓術の再発率を診療記録をもとに判定します。この研究の計画書や研究方法に関する資料は入手、閲覧が可能です。

**【対象となる方】** 2005年から2015年までに本院で肺動静脈奇形に対する経カテーテル塞栓術が行われた方。

**【研究課題名】** 肺動静脈奇形に対する経カテーテル塞栓術後の再発率評価についての後方視的研究

**【研究責任者】** 大分大学医学部附属病院放射線部 清末 一路

**【目的】** 肺動静脈奇形の経カテーテル的塞栓術の真の再発率を明らかにします。この研究の意義は、肺動静脈奇形に対する最も有効な治療戦略や経カテーテル的塞栓術の位置づけが明らかになることです。

**【研究資金・利益相反】** 本研究は当該施設の研究費で行われており、特定の企業などからの支援は受けておりません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

**【利用するカルテ情報・資料】**

既往歴、診断契機、治療前後のSaO<sub>2</sub>、肺動静脈奇形の詳細（タイプ・大きさ・部位）、塞栓術の詳細（塞栓した部位、デバイス、塞栓物質）、臨床経過観察期間、画像経過観察期間、臨床転機、フォローの詳細（再発の評価方法、再発の有無、種類）、画像（CT、MRI、肺血管造影画像）

**【研究期間】** 倫理委員会承認後より平成30年12月31日まで(予定)

**【研究の参加等について】**

本研究へ臨床データを提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に臨床データを使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの臨床データは研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患

者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。患者さんの臨床データを使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者までお申し出下さい。

**【個人情報の取り扱い】**

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後 5年間保存いたします。

**【問合せ先】** 本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 30 年 12 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。対象の方が未成年の場合には、保護者などの代諾者の方のご意思を尊重いたします。この場合診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科 濱本耕平（はまもと こうへい）  
電話 048-647-2111(代表) 内線(2624)